

私の名も載せて

「戦争する国反対」アピール賛同500人

兵庫県の丹波市9条の会連絡会（下野美彦代表）が発表したアピール、「兵庫県民（丹波市民）は、戦争する国つくりを許しません。安倍内閣の集団的自衛権行使容認・戦争をする国つくりに反対します」が市民に反響を呼び起しています。

（兵庫県・秋佐剛之）

兵庫 丹波市9条の会連絡会

アピールは45人が呼びかけ人となり、市民501人から賛同が寄せられました。賛同者名を掲載したアピールは、1万1000部を地元紙の神戸新聞に折り込みました。

「知っている先生の名

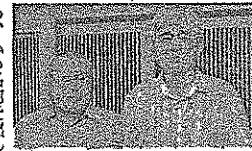
発表をめざしています。憲法改題ストップ兵庫

県共同センターは、作曲家の池田晋一郎氏ら兵庫県の著名人8人が呼びかけた「2015年憲法アピール」を発表し、賛同者を広げています。独自の



戦争法案に反対しパレードをする市民。丹波市6月27日。

「地域のアピール」にも取り組もうとの提議を受け、丹波市9条の会連絡会は、声に出して、目に見える形に」と取り組んできました。



事務局長の藤井さん(左)と呼びかけ人の細見さん

呼びかけ人には、元教師、旧町の元町議、書家など45人が名前を連ねました。賛同者は僧侶、牧師、市議や、「世界に平和が100年続いた国はないぞです。それなら日本が100年続かせていきましょう」というメッセージを寄せた市民など200人以上が、この人から「こんなにくさんの人が出ているな

ら、私も名前を出してほしい」という声も寄せられています。

集落でも

呼びかけ人の一人、農業者の細見昭文さん(67)が、10軒ある集落の常会で「署名を始める」と声をかけたところ、数日して近所の人から「局長の藤井元洋さん(64)が、農業は、意見書に賛成した9市議を訪問し、

どうなった」と心配する声も寄せられました。急いで集落全戸を回って8軒から賛同を得ました。夫婦で名前を連ねた人など、67人から賛同を集めました。

同連絡会は昨年9月、「集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回する意見書の提出を求める請願」署名2040人分を丹波市議会に提出しましたが、賛成8、反対11で不採択に。今年6月の「安保法制に関する意見書」も、賛成9、反対10で否決されています。

細見さんと連絡会事務局長の藤井元洋さん(64)は、意見書に賛成した9市議を訪問し、

8人が賛同者になりました。「議会では反対の態度を表明した。いまさら出なくてもみんな分かっていっている」という藤井には、「知らせることが大事」と話して賛同者になってもらいました。

「賛同者のファクスが大層に送られてきて、用紙もインクリボンもすぐになくなった」という藤井さんは「戦後70年間、戦争で1人の自衛隊員の戦死者も出さなかったなかっただけは憲法9条のおかげです。民意を無視して、戦争法案を強行するのは民主主義の破壊です」と、第2次発表に向けて奮闘しています。

「戦後70年のいま、私たちの教え子たちや、その教え子である子どもたちを戦争に巻き込む危険性を有する法案に強く反対し、法案の撤回を求めます」としています。

授は「大学の教職員にも呼びかけていきたくて、賛同を広げ、広く市民」と話しています。

北教大札幌校

北海道教育大学札幌校（札幌市）の教職員組合は28日、「安倍内閣連立法案に反対する声」を発表しました。

声明は、参院で審議中の「安保関連法案」が、憲法で禁止している集団的自衛権を行使

戦争法案反対 大学教職員が声明

「戦争法」として「戦争法」であることは明白だと指摘。送り出した教育をさせられることのないように、「子どもたちのために平和な社会を維持すること、平和について高い意識を持つた教員を養成し、平和の尊厳を未来へと引き継ぐことが教員養成大学の務め」である

香川大の有志

香川大学の教員有志が25日、高松市で記者会見し、この政權による勝手な解釈に基づ